

各位

2017年5月17日
サイバネットシステム株式会社

光学設計解析ソフトウェア「CODE V」 最新バージョン11.0 販売開始のお知らせ

**光学機器設計時に要求仕様・性能や到達度を表形式で一元管理・評価
煩雑な確認作業から開放され効率的な設計開発環境を実現**

サイバネットシステム株式会社（本社：東京都、代表取締役 社長執行役員：田中 邦明、以下「サイバネット」）は、主要取引先であるSynopsys, Inc.（本社：米国カリフォルニア州、以下「シノプシス社」）が開発し、サイバネットが販売・サポートする光学設計解析ソフトウェア「CODE V（コード ファイブ）」の最新バージョン「CODE V 11.0」の販売を、2017年5月17日から開始することをお知らせいたします。

CODE Vは、光学設計（レンズ設計）・評価解析・製造支援などのための各種機能を搭載した、光学製品開発業務を総合的にサポートする光学設計解析ソフトウェアです。対象となるアプリケーションは、撮像機器（カメラレンズ、ビデオレンズなど）、投影機器（プロジェクタ、HUD*¹、HMD*²など）、レーザー関連機器、光通信機器、医療機器、産業用計測機器、航空・宇宙関連機器など多岐にわたります。

CODE V 11.0は、設計を行う光学系に対する一連の要求仕様や目標性能を表形式で登録・管理し、設計過程で随時それら各項目への到達度を評価できるようになりました。これにより、従来設計者自身によって様々な解析機能を使用して行われていた要求仕様の管理・評価プロセスを大幅に簡単・最小化できるとともに、設計方針の検証にも活用できます。さらに作成した設計仕様表を保存して複数の開発設計者間で共有して使用することができるため、光学機器の開発プロジェクト管理に役立ちます。

CODE V 11.0 の主な新機能と機能強化

設計仕様表の作成と管理のための SpecBuilder

簡単かつ直感的に利用できるCODE V SpecBuilderツールを使えば、設計を行う光学機器の要求仕様と目標値を表形式で素早くまとめることができます。

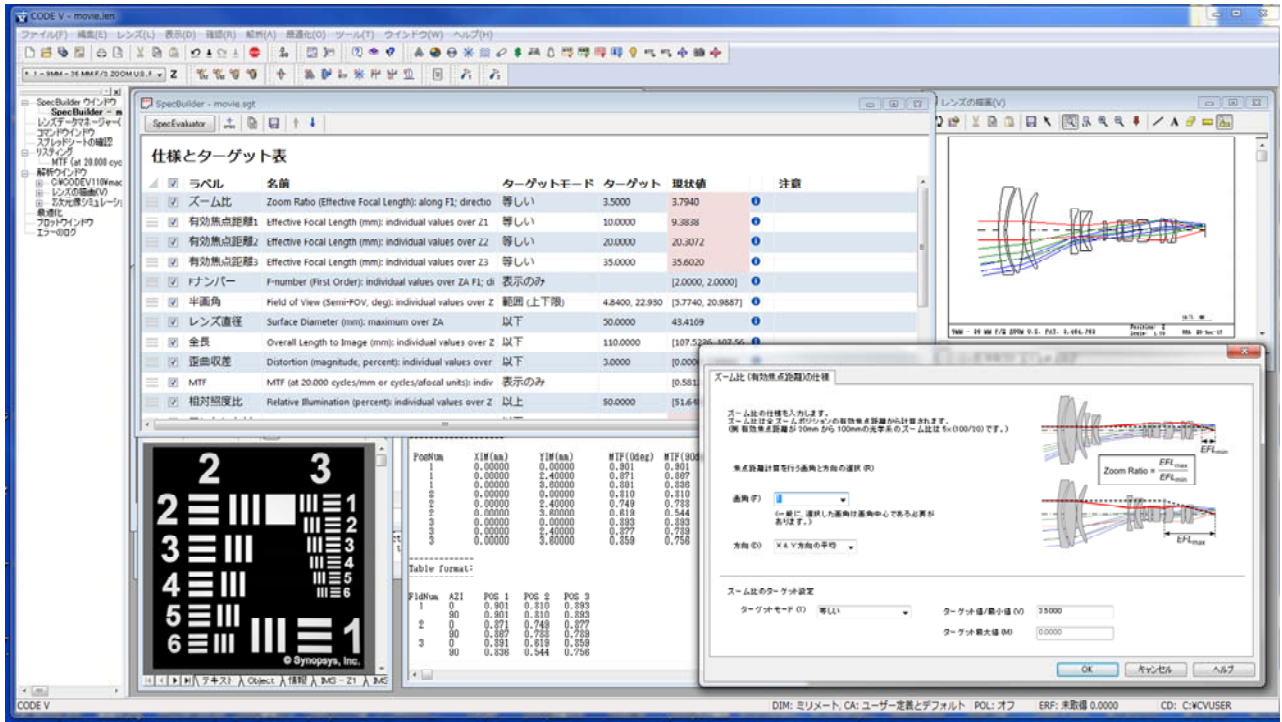
- 光学機器開発プロジェクトのすべての段階において、設計チーム内での課題共有や、設計の方向性の確認、要求仕様に関するレポート作成に役立ちます。
- シノプシスの光学技術者や産業界のエキスパートの意見を反映した多様な仕様の項目があらかじめ組み込まれています。（光学的仕様、機械的仕様、性能指標、製造性、環境変化やコストに関する様々な仕様）
- CODE Vのマクロ言語（CODE V Macro-PLUSTM）を使用して、設計者自身で仕様の項目をカスタマイズしたり、新たに定義して作成することもできます。

設計中の光学機器の性能評価のための SpecEvaluator

CODE V SpecEvaluator ツールを使って、SpecBuilder で作成した仕様表の各項目の評価を一括して行えます。これにより、設計中の光学機器を評価し、要求仕様や目標性能との比較を素早く行うことができます。

- ワンクリックで簡単に光学設計プロジェクトの進捗を確認できます。
- 仕様や目標を満たしていない項目をハイライト表示します。
- 設計プロセスに品質チェックの手段を提供します。光学機器開発プロジェクトの質を管理し、特に複数のチームによる開発現場で起こりがちな、コミュニケーション不足による誤りの防止に役立ちます。

お知らせ



SpecBuilder および SpecEvaluator による仕様の管理と評価

光線追跡アルゴリズムの強化

CODE V 11.0では、光学設計ソフトウェアの心臓部である光線追跡アルゴリズムが強化されました。これにより、従来は光線追跡処理を安定して行うために様々な補助設定を行う必要があった一部の広角レンズなどに対しても、デフォルト設定のままで安定した光線追跡が行えるようになりました。近年設計ニーズの高まっている超広角レンズや複雑な偏光光学系などのスムーズな設計を可能にします。

CODE V 11.0 の詳細については、下記Webサイトをご覧ください。
<http://www.cybernet.co.jp/codev/product/release/ver11.html>

注釈

- ※1：HUD：ヘッドアップディスプレイ。視野上の透明なスクリーンに情報を投影する装置。実際の反射面の奥に仮想的なスクリーン面を見ることができ、外界に映像を重ねることができるため、利用者に様々な付加情報を与えることができる。近年は車載機器として採用が大きく拡大している。
- ※2：HMD：ヘッドマウントディスプレイ。HUDと同様の原理であるが、眼鏡型の小型機器となっているもの。VR/AR用機器のデバイスとして多く利用されている。

シノプシス社について

Synopsys, Inc. (Nasdaq上場コード:SNPS) は、我々が日々使用しているエレクトロニクス機器やソフトウェア製品を開発する先進企業のパートナーとして、半導体設計からソフトウェア開発に至る領域（Silicon to Software）をカバーするソリューションを提供しています。電子設計自動化（EDA）ソリューションならびに半導体設計資産（IP）のグローバル・リーディング・カンパニーとして長年にわたる実績を持ち、ソフトウェア品質/セキュリティ・ソリューションの分野でも業界をリードしており、世界第15位のソフトウェア・カンパニーとなっています。シノプシスは、最先端の半導体を開発しているSoC（system-on-chip）設計者、最高レベルの品質とセキュリティが要求されるアプリケーション・ソフトウェアの開発者に、高品質で信頼性の高い革新的製品の開発に欠かせないソリューションを提供しています。

シノプシス社に関する詳しい情報については、下記Webサイトをご覧ください。社についての記載が必要な場合はここに記載。業務内容を簡潔かつ明確に記載。Webサイトがある場合は、最後は以下の文章で締めくくる。詳細は下記Webサイトをご覧ください。

<http://www.synopsys.com/japan>

サイバネットについて

サイバネットシステム株式会社は、科学技術計算分野、特にCAE（※）関連の多岐にわたる先進的なソフトウェアソリューションサービスを展開しており、電気機器、輸送用機器、機械、精密機器、医療、教育・研究機関など様々な業種及び適用分野におけるソフトウェア、教育サービス、技術サポート、コンサルティング等を提供しております。具体的には、構造解析、射出成形解析、音響解析、機構解析、制御系解析、通信システム解析、信号処理、光学設計、照明解析、電子回路設計、汎用可視化処理、医用画像処理など多岐かつ世界的レベルのソフトウェアを取扱い、様々な顧客ニーズに対応しております。

サイバネットシステム株式会社 〒101-0022 東京都千代田区神田練堀町3 <http://www.cybernet.jp/>

※記載されている会社名および製品名は、各社の商標および登録商標です。

お知らせ

また、企業が所有するPC/スマートデバイス管理の効率化を実現するIT資産管理ツールをはじめ、個人情報や機密情報などの漏洩・不正アクセスを防止し、企業のセキュリティレベルを向上させるITソリューションをパッケージやサイバネットクラウドで提供しております。

サイバネットシステム株式会社に関する詳しい情報については、下記Webサイトをご覧ください。

<http://www.cybernet.co.jp/>

※CAE (Computer Aided Engineering) とは、「ものづくり」における研究・開発時に、従来行われていた試作品によるテストや実験をコンピュータ上の試作品でシミュレーションし分析する技術です。試作や実験の回数を劇的に減らすと共に、様々な問題をもれなく多方面に亘って予想・解決し、試作実験による廃材を激減させる環境に配慮した「ものづくり」の実現に貢献しております。

本件に関するお問い合わせ サイバネットシステム株式会社

● 内容について

CAE第1事業本部 オプティカル事業部
マーケティング統括室
担当/黒木
TEL : 03-5297-3703
E-MAIL : optsales@cybernet.co.jp

● 報道の方は

営業推進部/平澤
TEL : 03-5297-3094
E-MAIL : prdreq@cybernet.co.jp

● 投資家の方は

経営企画・IR室/飯田
TEL : 03-5297-3066
E-MAIL : irquery@cybernet.co.jp